

“描く楽しさ”を体感し、創造力を引き出す 三菱鉛筆「楽描き」イベント開催レポート

三菱鉛筆株式会社（本社：東京都品川区、社長：数原英一郎）は、大井町本社ビル建て替えに伴う旧本社ビルの解体を前に、3歳から15歳のお子様およびその保護者を対象に、旧本社ロビーの壁や床をキャンバスとして自由に“楽描き”できる、「わくわく“楽描き”イベント」を6月25日（土）に開催いたしました。

会場ではイベント開始直後から多くの家族連れで賑わい、来場動員数は総計2,013名となりました。多くの方にご来場いただき、誠にありがとうございました。

■ロングセラー製品「ポスカ」や図画工作ができる色鉛筆「ポンキーペンシル」が大活躍 大人も子どもも問わずはしゃいで“楽描き”体験



当イベントでは、大きな窓ガラスや、壁、柱、床、ショーケースなどありとあらゆる空間が、彩り豊かな“楽描き”で満たされました。

集まったお子様たちは、普段であれば怒られるような床や壁への楽描きに大喜び。「早く描きたい！」と興奮気味にポスカを握りしめる男の子や、床に黙々と描き続ける女の子、楽しそうに窓に楽描きする兄弟など、思い思いに楽描きを楽しむ様子が見られました。保護者の方々からも「室内に描きまくる息子の念願の夢が叶った」、「プロのアニメーターがイラストを仕上げているのを生で見せて感激した」、「自分も我慢しきれず大きな絵を思い切り描いた」との声を頂き、大人の方も童心に返ってお楽しみいただきました。

■プロアニメーター達による、直筆キャラクタールームもイベント開催日限定公開



本イベントでのもう一つの見どころは、プロのアニメーターによる1日限定公開の直筆キャラクタールーム。今回のイベントに賛同し、日本アニメーション様、手塚プロダクション様、タツノコプロ様の3社にキャラクタールームを制作いただきました。「ちびまる子ちゃん」「鉄腕アトム」「アクビガール」等、幅広い年代に人気の高い歴代アニメキャラクターが大集結。解体前の社屋に描かれた貴重な作品となりました。

■お客様からの“ありがとう”メッセージも 解体前の社屋における、最初で最後のイベント

当イベントは、築32年の旧社屋の解体にあたり、日頃の感謝の気持ちを込めて、お子様を中心に描く楽しさを感じて頂きながら創造力を育むきっかけ作りを行いたいという考えから企画いたしました。

会場全体は参加者による楽描きによって辺り一面埋め尽くされており、会場内のいたるところに来場者からの「uniお世話になりました」や「ありがとう」等のメッセージを見つけることができました。

イベント終了時には、会場に来たお子様達とアーティストAZI氏の記念撮影会が行われ、来場者全員の大きな拍手と共に閉会いたしました。

